

湧水の里・竹田の石造り文化

水と石が織り成す
郷愁あふれる景観

大分県
竹田市



4 白水(溜池)堰堤 はくすい(ためいけ)えんてい

くじゅう山系、阿蘇外輪山、祖母・傾山系に囲まれた盆地・竹田。阿蘇山系の伏流水が湧き出す山里は、丘陵が複雑に入り組むため、水路橋をはじめとする石造りの建造物が数多く点在している。

熊本から国道57号を東へ、道の駅すごうの手前を右折し、県道640号へ。県道135号との交差点の先で黄色の岩戸橋が架かる。築造は嘉永2年(1849)。橋長28.2m。1連

アーチは径間17.4mと長く優美な姿であり、乱積み目の壁石は素朴な表情。下流には2本の水路橋も望まれ、時代をまたいだ橋梁建設の歴史がうかがえる。この橋は大分県指定有形文化財の第一号である。

ここから県道695号を南下し、「円形分水」の案内表示から右へ。田圃の道を進むと、新白水トンネルの手前、右脇の畦道に音無井路十二号分水がある。江戸時代に発案された導水路の開削は、明治25年



取の里温泉



1 岩戸橋 しわとばし



2 音無井路十二号分水 おとせいのしらいちごうかんせいのきり



3 明正井路一号幹線一号橋(水路橋) めいせいしらいちごうかんせいのきり

(1892)にようやく完工。しかし、周辺農民の水争いが激化したため、この円形分水が考案され、昭和9年(1934)に竣工。中央から湧き出す水は、円形水槽に設けられた20の分水窓から、一定の割合で3本の水路に分配される。水量の多少に関係なく分配比率が変わらない工夫に、施工者の知恵がうかがえる。現役で活躍する円形分水の側、石碑に刻まれた「水は農民の魂」の言葉が、先人たちの苦難を物語っているかのようである。

日本随一の堰堤美に驚嘆

県道695号をさらに南へ。県道8号を左に進むと、門田川と県道をまたぐ長大な6連アーチの石橋・明正井路一幹線一号橋がある。築造は大正8年(1919)。橋長78m、橋幅2.8m。現役の水路橋では国内最大規模。布積みの端正な壁石が、ローマの導水遺跡を思わせる重厚さである。ここから竹田市へ向う途中、長小野



8 鏡石拱橋(水路橋) かがみせつこうきょう



9 若宮井路笹無田石拱橋(水路橋) わかみやういざさむたせつこうきょう



10 山王橋 さんのうけし

湧水、泉水湧水、河宇田湧水などの竹田湧水群を県道沿いに見ることができる。

市街に入る前に立ち寄りたのが、日本一美しいと絶賛される白水(溜池)堰堤、通称白水ダム。同指定の重要文化財である。JR豊肥本線の玉来駅の南、県道639号沿いのガソリンスタンドの手前を左折。大野川沿いの農道、谷あいの林道を延々と進み、鳴口駐車場へ。その先に堤高14.1m、堤頂長87.26mの重力式削石コンクリートダムが見える。完成は昭和13年(1938)。流速を制御するため、曲線を取り入れた堤体の優美さ、階段状になって落ちる水「転波」が描くレース模様の華麗さに、誰もが息を飲むことだろう。

「市民石工」の名が残る石橋

竹田市街の中心、山手河川公園にある2連アーチの石橋・宮瀬橋は、昭和2年(1927)築造。水害で損傷したため、平成10年(1998)、ここに移設復

土木遺産名称	尺所
1 岩戸橋	深い谷川を滑って國藩の上納米を運ばなくてはならないために架設された石アーチ橋
2 吾無井路十二号分水	農業用水の分水施設、水争いを無くした円形分水
3 明正井路一号新線一号橋(第一石拱橋)	水路橋としては国内最長(75m)の石アーチ橋
4 白水(溜池)堰堤	総流列が遠くまでレース模様の流水が美しい/石岸:特異な曲面流路、左岸:円形の階段状流路
5 宮瀬橋	竹田市次宮 瀬ノ口、宮瀬八幡社への参道橋でもあったが、河川公園に移設保存された
6 (廃)久戸谷隧道	明治期の入駅トンネル、"レンコン町 竹田の地蔵柱"
7 (廃)第四小田無隧道	ポータル全面が切石の欠円アーチになっている一橋
8 鏡石拱橋	農業用水の石造水路アーチ橋
9 若宮井路笹無田石拱橋	農業用水の石造水路アーチ橋
10 山王橋	徳千も当時のまま、3連の優美な石アーチ橋



11 十六羅漢



13 武者屋敷跡



14 瀧原太郎記念館



15 泉水湧水



12 岡城址



16 長小野湧水

元された。その際、「市民石工」として移設作業に参加した約800名の名前が、アーチ石に書かれているという。

市街から国道502号を東へ。総合運動公園入口の交差点を左折し、久戸谷トンネルを抜けた左手の山手にあるのが(廃)久戸谷隧道。竣工は明治20年(1887)と古く、開削方法を推定できる施工跡が残る最古のものだという。

国道502号を東へ進み、新小田無トンネルの手前から右に入ると、(廃)第四小田無隧道がある。全長99.2mの内部は大部分が素掘りのままで、開削時の息吹きが感じられる。

アーチ橋の雄大さと美しさ

市街から国道442号を東へ進み、県道47号へ左折すると、石造水路橋の鏡石拱橋に出会う。完成は明治42年(1909)、濁瀨川と県道をまた

ぐ橋長29mの2連アーチは、径間異なる独特のフォルムが面白い。

国道をさらに東へ向かうと、笹無田トンネル手前の左手に、石造2連の若宮井路笹無田石拱橋が現れる。何度かの建造を繰り返して大正6年(1917)に完成。橋長59m、橋幅4m。径間21.5mの現役水路橋が谷をまたぐ姿は雄大である。

一方、市街から県道638号を西へ進むと、明治40年(1907)築造の石造3連アーチの山王橋がある。橋長は56m。歩車道では市内最長であり、緻密な石積みとアーチの美しさに思わず見惚れてしまう。

竹田市街は名曲「荒城の月」ゆかりの岡城址をはじめ、歴史や文化に触れられる名所や温泉も数多く、素朴な郷愁にはっと心安らぐことだろう。

土木遺産 in 九州のホームページアドレス
www.qscpuu.or.jp/dobokuisan/